



津別町社会福祉協議会のホームページをご覧ください。
きありがとうございます。

津別町は、北海道東部・オホーツク圏の内陸部に位置し、総面積 716.60 km²。その 86% を森林が占めている林業のまちで、日本で初となる「愛林のまち」を宣言しています。もう一つの基幹産業である農業においては、有機酪農の先進地として「オーガニック牛乳」や「つべつ和牛」などの畜産物、小麦やじゃがいもなどの農産物など豊かな自然を生かした農林業の盛んな町です。

また、移住定住にも力を入れ、空き家をリノベーションして喫茶やゲストハウスなど町の活性化にも取り組んでいます。

一方で少子高齢化が進み、高齢化率は 44% を超え、地域で見守る仕組みづくりが必要であり、令和 2 年度からスタートしている「第 2 期津別町地域福祉計画・第 5 期地域福祉実践計画」にある身近な福祉相談所「ぽっと」の取り組みなど自治会と連携した取り組みを進めています。

また、住民の皆さんとの協働事業である、介護予防いきいきポイント事業、生活支援サポート事業、ふれあいサロン事業、ちょこっと茶屋（認知症カフェ）など地域の中に気軽に集える場や困ったときにお互いに支え合える地域社会を目指しています。

成年後見制度の利用や相談支援、生活困窮者の支援など権利擁護にも力を入れ、平成 26 年度に津別町から受託した「あんしん生活サポートセンター」事業は、養成研修を済ませた 40 人を超える市民後見人がその活動を支えています。また、ひきこもり者の支援にも力を入れ、居場所や社協あぐり（農園）など相談支援から参加支援に活動の輪が広がり、令和 3 年度からは国の重層的支援体制整備事業の受託など、より一層、関係機関と連携を密にしながら個別支援と地域支援を一体的に取り組んでいます。

今後も役職員一丸となり、津別町や自治会、福祉団体などの関係者、住民の皆さんとともに、安心して暮らし続けられる支え合う地域社会を推進していきますので、より一層のご支援を心からお願い申し上げます。

社会福祉法人 津別町社会福祉協議会
会長 山田英孝